

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分との対話	2	△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。	○積極的に自分のことを客観的に捉え、今までの学習を生かして質問について考えようとしている。
風景 純銀もざいく	1	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。○文章を音読したり朗読したりしている。	○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	○進んで言葉の意味を考え、繰り返しの響きや意味に気をつけて音読しようとしている。
あの坂をのぼれば	2	△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている	○進んで言葉の意味を考え、学習の見通しをもって音読しようとしている。
図に表して考えよう	3	△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。	○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	○粘り強く伝えたいことを明確にしようとし、学習の見通しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。
春はあけぼの	4	△親しみやすい古文や漢文、近代	○親しみやすい古文や漢文、	○「書くこと」において、目	○進んで語感や言葉の使い

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 □まとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって『枕草子』ふうの文章を書こうとしている。
主語と述語の対応をかくにんし	2	積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の種類とその特徴について理解している。		積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。
漢字の広場 ①三字以上の熟語の構成	1	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。	○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって熟語の由来に関心をもち調べようとしている。
漢字の広場 ①五年生で学んだ漢字 ①	1	△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		章の中で使うこと。■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。			
雪は新しいエネルギー	6	△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。□事実と感想、意見との関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。□目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。	○情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしていると同時に、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	○積極的に雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめようとしている。
主語と述語の対応をみる	2	△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。		○積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。
地域の防災について話し合おう	6	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。◇互いの立	○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。	○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	○粘り強く意見の違いを大事にしながらか話し合い、学習の見通しをもって考えを深めようとしている。

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。			
みんなで作ろうパンフレット	4	△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。	○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	○積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。
雨	1	△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。	○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	粘り強く「雨」を扱った言語表現を集め、学習の見通しをもって「言葉ノート」を作ろうとしている。
世代による言葉のちがひ	2	△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違い	○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世	○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話	○積極的に世代による言葉の違いの違いについて理解し、学習課題に沿って相手や場

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		に気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。	代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。
漢字の広場 ②複数の意味をもつ漢字	1	△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。	○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。
漢字の広場 ②五年生で学んだ漢字 ②	1	■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮すること。	ること。 ○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くようとしている。
川とノリオ	7	△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。□登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。○文章を音読している。	○「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめ	○進んで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見通しをもって優れた表現についての感想を話し合おうとしている。

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
				ている。○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	
地域の施設を活用しよう		地域の施設について調べ、情報収集のための活用方法を考えること 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと 「読むこと」において、目的に応じ	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている	「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	地域の施設について調べ、情報収集のための活用方法を考えている。
ひろがる読書の世界		読書生活を振り返り、「特別な一さつ」を紹介し合ったり、これからの読書生活を考えたりしていること。日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること に役立つことに気付いていること。「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げていること	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること に役立つことに気付いている	「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている	読書生活を振り返り、「特別な一さつ」を紹介し合ったり、これからの読書生活を考えたりしている。
聞かせて！「とっておき」の話	2	△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	○「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	○積極的に話し手の意図を考慮し、今までの学習を生かして自分の意見と比べて考えをまとめようとしている。
詩を味わおうイナゴ	1	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語	○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っていると同時に、語句	○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、	○積極的に言葉の広がりを楽しむ、学習課題に沿って詩の世界を
「知恵の言葉」を集めよう	1	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や	○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書	楽しもうとしている。 ○進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。	理解し、語彙を豊かにしている。○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	習の見通しをもって自分の「知恵の言葉」をつくろうとしている。
「知恵の言葉」を集めよう	1	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。	○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	楽しもうとしている。 ○進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって自分の「知恵の言葉」をつくろうとしている。
あなたは作家	5	△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わ	○積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題に沿って写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。
なぜ、わかり合えなかったのかな？	3	△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。◇互いの立場や意図を明確にしなが	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えてい	○積極的に相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、学習課題に沿って相手との言葉の掛け合いの工夫を考えようとしている。

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		を広げたりまとめたりすること。		る。	
漢字の広場 ③熟語の使い分け	1	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。	○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分けようとしている。
漢字の広場 ③五年生で学んだ漢字 ③	1	△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っ	○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目し	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習
あなたはどうか感じる？	1	△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。	○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。	○進んで文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習課題に沿って友達と自分の感じ方の違いについて考えようとしている。
ぼくの世界、君の世界	7	△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。□目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。	○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたり	○進んで筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、自分の経験をふりかえりながら「心の世界」について考えようとしている。
「うれしさ」って何？——哲学対	4	△原因と結果など情報と情報と	○原因と結果など情報と情	○「話すこと・聞くこと」に	○積極的にお互いの考えや

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話をしよう		の関係について理解すること。◇話し手の目的や自分が聞こ	報との関係について理解している。	において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉	意見を関連づけて述べ合い、今までの学習を生かして共通点や相違点を
言葉は時代とともに	5	△古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けるこ	○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。	○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	○積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
十二歳の主張	6	△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫するこ	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしていると同時に、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書	○積極的に情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題に沿って理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書こうとしている。
漢字の広場 ④音を表す部分	1	△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに	○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違い		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって
漢字の広場 ④五年生で学んだ漢字 ④	1	△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されて	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		いる漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。			
きつねの窓	8	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の	○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わ	○進んで登場人物の心情の変化を考え、学習の見通しをもって想像したことを書こうとしている。
「読書タイムライン」を作って交流しよう	3	見通しをもって「読書タイムライン」を作成し、読書履歴などを振り返りながら、粘り強く自分が作った本について考えようとしていること。「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げていること。日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること	「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	見通しをもって「読書タイムライン」を作成し、読書履歴などを振り返りながら、粘り強く自分が作った本について考えようとしている。
その場にくさわしい言い方	2	△日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。	○日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。		○積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。
紙風船	1	◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク◎文章を音読したり朗読したりしている。◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えた	◎比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク◎文章を音読したり朗読したりしている。	◎「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)工)	すすんで言葉からイメージを膨らませ、詩の世界を味わおうとしている。

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		りしている。(C(1)エ)すすんで言葉からイメージを膨らませ、詩の世界を味わおうとしている。			
「迷う」	3	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解していること「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていること◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げていること今までの学習を生かして、積極的に文章の特徴について理解するとともに、筆者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしていること。	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。◎「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	今までの学習を生かして、積極的に文章の特徴について理解するとともに、筆者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。
六年間の思い出をつづろう——卒業文集	5	比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。自分のこれまでの小学校生活を振り返り、心に残っている事柄と自分にとっての意味を考えながら、読み手に伝わる文章を書こうとすること。	比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	自分のこれまでの小学校生活を振り返り、心に残っている事柄と自分にとっての意味を考えながら、読み手に伝わる文章を書こうとしている。
言葉と私たち	2	△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見	○話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。	○「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見	○粘り強く論の進め方について考え、学習の見通しをもって言葉に対する自分の考

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		とを区別するなど、話の構成を考えること。■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関		とを区別するなど、話の構成を考えている。○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたり	えを書こうとしている。
漢字の広場 ⑤同じ訓をもつ漢字	1	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。	○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分けようとしている。
漢字の広場 ⑤五年生で学んだ漢字⑤	1	△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
津田梅子	11	△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。□人物像や物	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像し	○積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って津田梅子の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介しようとしている。

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること		たり、表現の効果を考えたりしている。○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	
日本語の文字	2	△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。◇目的や意図に基づいて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に基づいて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。	○積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し、今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。
漢字の広場 ⑥さまざまな読み方	1	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。	○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもとうとしている。
ひろがる言葉	8	△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。◇目的や意図に基づいて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりし、伝え合う内容を検討	○話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に基づいて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合	○積極的に卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持とうとして

評価基準

教科	国語	学年	6学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		すること。		う内容を検討している。○ 「書くこと」において、目的 や意	いる。